



**JAPAN  
TOURISM  
AWARDS**



## 2017年度 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」 受賞取組紹介

ツーリズムEXPOジャパン



世界にひとつ。あなたにひとつ。  
協賛・副賞提供：JCB



ツーリズム  
EXPO  
ジャパン

2017  
年度

第3回  
「ジャパン・ツーリズム・アワード」  
大賞受賞  
南三陸ホテル観洋

〈受賞者の言葉〉 女将 阿部 憲子

「震災を風化させないための語り部バスによる地域交流活性化の取り組み」が大賞に選ばれましたこと、大変光栄に存じ、私たちの思いを今後も発信していくための大きな励みになり心より感謝申し上げます。語り部活動は国や世代を超えて地域の歴史や文化の継承を未来へ伝え、多くの方々が現地を訪れるキッカケとなり、地域の交流人口拡大や縁と絆を結んでおります。震災復興だけでなく、観光振興、地方創生に繋げていくために、大賞受賞の栄誉を胸に一層地域の発展に努めて参ります。この度は誠にありがとうございました。



大賞



# 大賞

Grand Prize

Grand Prize

国内・訪日領域／ビジネス部門

## 南三陸ホテル観洋

### 「震災を風化させないための語り部バス」による 地域交流活性化の取り組み



#### 取組概要

ホテルで所有しているバスを使用し、ホテルスタッフや住民の語り部が被災した震災遺構を含む町内のコースを約60分で案内する。甚大な被害があった地域を直接利用者に自分の目で見て感じて頂きながら、車内では案内役の語り部が震災の事は基より個人の経験を通じ一番伝えたい事を伝承する場になっている。言葉だけでなく画像や映像で視覚的に伝えるために写真やタブレットを使用した語り部にも取り組み、多言語を同時に表示できるシステムも活用している。震災の風化防止だけでなく命を守る事の大切さを感じる貴重な学びの機会になっており、語り部の活動は国内だけでなく海外へ向けても地域の情報発信源として大きな役割を担っている。

#### 独自性・特色

団体だけでなく一人でも申し込みが出来、申込人数によりバスの台数を増やし毎日運行している。運休日は無く天候条件にも左右されにくい事や、町内を効率的に短時間で紹介できるため高齢者であっても移動負担が少ないことも特徴である。時間の経過と共にコースや話す内容も変化するためリピーターの方も多い。

#### ● 選考ポイント

2011年の東日本大震災直後から宿泊施設を被災者に提供するなど地域に寄り添い復興への道を開いた。同時に震災体験を伝えることで防災への意識向上を図っている。震災を風化させないためのたゆまぬ取り組みを評価した。被災地の復興のためさらなる継続を期待する。